

だいがくにほんご

大学日語

1

顾明耀
徐祖琼 主编

高等教育出版社

高等学校教材

GAODENG XUEXIAO JIAOCAI



大 学 日 语

(1)

顾明耀 徐祖琮

(主编)

陈俊森 邱银娥

冯建力 王精诚

合 编

高等教育出版社

(京) 112号

大学日语

(1)

顾明耀 徐祖璋

(主编)

*

高等教育出版社出版

新华书店总店北京科技发行所发行

北京顺义印刷厂印装

*

开本 850×1168 1/32 印张 11.5 字数290 000

1991年5月第1版 1992年5月第2次印刷

印数 5 027-9 857

ISBN 7-04-002654-6/H·369

定价3.80元

前 言

《大学日语》是为贯彻执行1989年5月国家教委批准的《大学日语教学大纲（非日语专业本科生用）》（以下简称“大纲”）而编写的，供非日语专业的大学本科生学习日语（第一外语）使用的教材。

《大学日语》是一套综合性的教材。所谓综合性，含有几层意思。1. “大纲”是综合型的教学大纲，既注重语言知识的教学，强调打好语言基础，又注重交际能力的培养，强调培养学生的言语能力、社会交际能力。根据这个教学目的，《大学日语》也是从这两个方面出发的；2. “大纲”强调语言共核的教学，既不单纯搞生活日语，也不偏于结合专业，《大学日语》根据这个要求突出了语言共核；3. 对学生语言技能的要求，“大纲”从三个层次就读听写说提出了具体的教学要求及培养目标，据此《大学日语》把这几个方面的教学、训练揉在一起，融为一体，使它们有机地结合起来；4. “大纲”规定的语法体系也属于综合性的，它既沿用学校语法的基本路子，又对它作了若干改良，并采纳了一些新的研究成果，吸收了我国日语教学中的一些成功经验。《大学日语》是严格按“大纲”规定编写的。

为满足当前教学的急需，根据“大纲”基础阶段教学的基本要求，先编写了适用于大学日语1—4级的四册《大学日语》教材。

这套教材选入课文、阅读的文章均系原文。选用的标准是内容健康、语言规范、题材丰富、体裁多样、生动有趣，力求作到思想性、知识性、规范性、趣味性、实用性的统一。教材的听力、会话部分，努力从内容、词汇、语法、功能意念等方面与本单元其它项目相配合，以便汲取功能意念教学法的特长，并按“大纲”所附“语言技能表”的要求培养学生的语言技能。练习

是教材中的一个很重要的部分，编写练习的原则是目的明确、比例合适、形式多样、分量得当、实用性强，紧扣“大纲”所附“语言技能表”的要求。

本册是《大学日语》第一册，适用于大学日语第一级教学。

本册由10个单元构成。每一个单元中设有课文、生词、语法、听力、会话、阅读、练习等项。全书可供60—70学时教学使用。

本册教材，课文的总字数约为15000字，是“大纲”规定精读量的150%。因为“大纲”规定的是最低要求，教材则以适量地多提供一些语言材料为宜，这样可便于因材施教，也便于教师灵活处理。本册教材共出现生词909个，其中有724个是“大纲”要求学生在本级掌握的单词，占“大纲”规定掌握单词数量的90%。这些单词，分布在各单元的课文、听力、会话、阅读等部分（均标有序号），但主要集中在课文部分。对其中约450个单词，即“大纲”要求复用式掌握的词汇，有计划地安排了重复。本册教材的语法教学以词法为主，基本上覆盖了“大纲”所附“语法表”中要求在基础阶段学习的语法项目。当然，编写中，注意了使词法、句法、篇章法的有机结合，而不是使他们相互割裂。本册教材的听力、会话两部分，根据“大纲”规定，只提出了质的要求，未作量的限定。本册教材阅读部分的总字数约为32000字，是课文字数的一倍，基本上满足了“大纲”提出的泛读要求。

《大学日语》1—4级四册，由顾明耀（西安交通大学）、徐祖琼（复旦大学）主编，并聘请了日本著名语言学家、东京大学名誉教授柴田武先生，庆应义塾大学教授斋藤修一先生担任顾问。

《大学日语》第一册编者为陈俊森（编写负责人，华中理工

大学)、邱银娥(复旦大学)、冯建力(西北工业大学)、王精诚(西安交通大学)。

由于我们经验不足,水平有限,而且编写这种类型的教材难度很大,加之时间仓促,错误、不当之处在所难免,欢迎老师们、同学们批评指正。

本册教材曾经大学外语教材编审委员会日语编审组开会审定,参加审稿会的有编委金慕箴(主审)、赵德雍、刘长义,以及张文友、关西成、栾开翔、姚崇永、赵乃斌、田忠魁、尹学义、祝大鸣等老师,承他们提出了许多宝贵意见,对此谨表衷心的感谢。

编 者

1989年5月20日

目 录

第一ユニット	1
一、本文	1
ガラスの利用	1
二、新出単語	3
三、文法	6
1. 语言单位	6
2. 动词的“体”	7
3. 从“体”的角度考察动词的类别	8
4. 提示助词でも，副助词ほど、だけ	9
5. 惯用型	10
6. 构词知识	11
四、ヒヤリング	12
五、会話	13
六、閱讀	15
1. 地球は水の惑星	15
2. 養分の取り方	17
七、練習	19
第二ユニット	28
一、本文	28
長生きしてよかったと思える社会	28
二、新出単語	30
三、文法	33
1. 持续体	33
2. 过去完了助动词た的连体形	35
3. 表示授受关系的补助动词	35
4. 表示确认、强调、命令、咏叹的“た”	36
5. 口语中的一些语言现象	36

6. 助詞	36
7. 慣用型	37
8. 構詞知識	39
四、ヒヤリング	39
五、会話	41
六、閲読	42
1. たった一本でも	42
2. 勇気のある人	44
七、練習	46
第三ユニット	56
一、本文	56
色と生活	56
二、新出単語	58
三、文法	60
1. 存续体	60
2. 助動詞ようだ、ようです	62
3. 定语的修饰层次	63
4. 格助詞と、から	63
5. 慣用型	65
6. 構詞知識	66
四、ヒヤリング	67
五、会話	69
六、閲読	69
1. 乗り物と色	69
2. 信号と色	72
七、練習	74
第四ユニット	85
一、本文	85
人間の尊さ	85
二、新出単語	87

三、文法	89
1. 完成体	89
2. 補助动词みる	91
3. 同位语	91
4. 文语助动词べし	92
5. 助词	93
6. 惯用型	94
7. 构词知识	95
四、ヒヤリング	96
五、会話	98
六、閲読	100
1. 本との巡り合い	100
2. もう一度考える	101
七、練習	103
第五ユニット	112
一、本文	112
北海道の大自然で知った働く喜び	112
二、新出単語	114
三、文法	116
1. 时	116
2. 指示词的指代用法	119
3. 格助词まで、提示助词も	120
4. 惯用型	121
5. 构词知识	122
四、ヒヤリング	122
五、会話	123
六、閲読	125
1. 絵を書く楽しみ	125
2. バンクーバーから	126
七、練習	130
第六ユニット	140

一、本文	140
雨の中の風景	140
二、新出単語	142
三、文法	145
1. 态	145
2. 被动态和被动句	146
3. 使动态和使动句	147
4. 被使动态和被使动句	149
5. 样态助动词そうだ	149
6. 表示方位、时间名词的修饰语	149
7. 格助词を	150
8. 惯用型	150
9. 构词知识	151
四、ヒヤリング	152
五、会話	154
六、閲読	156
1. 就職	156
2. あいさつ	158
七、練習	160
第七ユニット	171
一、本文	171
言葉を学ぶ	171
二、新出単語	173
三、文法	176
1. 能动态和能动句	176
2. 自然发生态和自然发生句	178
3. 补助动词いく和くる	179
4. 并列助词とか、なり，提示助词しか	180
5. 惯用型	182
6. 构词知识	183
四、ヒヤリング	184

五、会話	187
六、閲読	188
1. 「れる・られる」の二面性	188
2. 外来語と外国語	192
七、練習	194
第八ユニット	205
一、本文	205
正常な体温はあるか	205
二、新出単語	208
三、文法	210
1. 助動詞	210
2. 接于动词后表示态的助動詞	212
3. 接于活用词后主要表示时的助動詞	212
4. 接于体言等后使之具有陈述作用的助動詞	212
5. 构成郑重语的助動詞	213
6. 表示说话人陈述方式的助動詞	213
7. 文語动词あり	215
8. 格助詞で	216
9. 慣用型	217
10. 构詞知識	218
四、ヒヤリング	219
五、会話	220
六、閲読	222
1. 文明が人の自然性を消してゆく	222
2. この水のために	225
七、練習	228
第九ユニット	240
一、本文	240
障子の破れに学ぶもの	240
二、新出単語	242

三、文法	244
1. 助词	244
2. 格助词	245
3. 并列助词	247
4. 接续助词	248
5. 提示助词	250
6. 副助词	251
7. 语气助词	252
8. 文语格助词が	253
9. 惯用型	253
10. 构词知识	255
四、ヒヤリング	256
五、会話	257
六、閲読	258
1. 自然観の差異	258
2. 日本は島国ではあるが、イギリスは島国ではない	261
七、練習	265
第十ユニット	276
一、本文	276
登山三分法	276
二、新出単語	279
三、文法	282
1. 惯用型	282
2. 基本上起助词作用的惯用型	283
3. 基本上起助动词作用的惯用型	283
4. 惯用型剖析示例	285
5. 否定推量助动词まい	288
6. 提测助动词らしい	289
7. 助词	290
8. 构词知识	291
四、ヒヤリング	292

五、会話	293
六、閲読	294
1. 手紙の乱れ	294
2. 川と人間	298
七、練習	304
第一册总词汇表	316

第一ユニット

- | | |
|-----|--------------------|
| 本文: | ガラスの利用 |
| 文法: | 1. 语言单位 |
| | 2. 动词的“体” |
| | 3. 从“体”的角度考察动词的类别 |
| | 4. 提示助词でも，副助词ほど、だけ |
| 閲読: | 1. 地球は水の惑星 |
| | 2. 養分の取り方 |

一、本文

ガラスの利用

よしみずつわお
由水常雄

ガラスは、さまざまな形で、私たちの暮らしに役立っている。ちょっと周囲を見回してみるだけでも、数え切れないほどのガラス製品に囲まれていることに気づくだろう。

ガラスは、木や石と違って、人間が物を作るために生み出した最初の人工的な材料である。約五千年前に生まれ、長い歴史を持つガラスには、優れた性質がたくさんある。その主なものを挙げると、熱に溶けやすく、どんな形にでも加工しやすい、透明で光を通す、水や空気を通さないなどの性質である。これらの性質を生かして、家や乗り物の窓ガラス、コップや瓶、蛍光灯やテレビのブラウン管、レンズや鏡などの製品が作られている。

また、ガラスは、目的によって原料の組み合わせを変え、い

ろいろな性質の物にすることができる。薬に強く、化学薬品を入れる瓶に使われるガラス、高い熱に強く、なべに使われるガラスなど、さまざまである。

ガラスは、普通、表面が滑らかで美しく、硬くてきずがつきにくい。けれども、もろくて割れやすい性質もある。割れたガラスは、鋭くとがっていて、たいへん危険である。その欠点を補うために製法が工夫され、生み出されたのが、強化ガラスと合わせガラスである。

強化ガラスを作るには、普通のガラスを摂氏六百五十度ぐらいに熱しておいて、急に冷たい空気を吹き付ける。すると、ガラスの内側が加熱されて膨らもうとするのに対して、表面は冷えて縮もうとする。この内側の膨らむ力と外側の縮む力とがちょうど釣り合ったとき、普通のガラスの三倍から五倍も強くて丈夫なガラスができる。これが強化ガラスである。そのうえ、都合のよいことに、強化ガラスは、かりに割れたとしても、普通のガラスと違って、かけらが粒のようになる。鋭くとがったところがないので、危険が少ない。

合わせガラスは、平らな二枚のガラスの間にプラスチックの膜を挟み、圧力をかけて接着したものである。割れてもひびが入るだけでかけらが飛び散らず、安全である。

強化ガラスと合わせガラスは、主として自動車・船のような乗り物の窓に用いられるほか、ビルのドア、テーブルなどにも利用されている。

ガラスの欠点を補うだけでなく、ガラスの優れた性質をもっと広く活用する研究も、積み重ねられてきた。ガラスが溶けたときの性質に着目して考え出された細い糸も、その一つである。

ガラスを溶かして、小さな穴から引き出すと、驚くほど細い、長い糸を作ることができる。こうしてできた糸は、木綿や

絹の糸と違って、燃えることもなく、熱に強い。だから、ガラスの糸で作られた布は、消防服やカーテンを作るのに具合がいい。また、この糸で作られた綿は、熱を伝えにくいので、家の壁や冷蔵庫の壁の中に入れられている。

もっと素晴らしいことには、ガラスの糸を入れてプラスチックの板を作ると、鉄板より強いものができる。しかも、それは、鉄板よりずっと軽い。ヘルメットやボート、棒高飛びの棒やスキーの板にまで使用されているのはそのためである。

そればかりではない。今では、髪の毛ほどの細いガラスの糸を作り、それを通信に使うことまで開発されてきている。これまでの電線を使った通信に代わって、糸の中に光を走らせて通信をするのである。この方法だと、電線よりずっと細く軽いガラスの糸によって、はるかに速く、多くの通信ができる。

私たち人間は、ガラスという素晴らしい人工の材料の性質を利用して、多くの製品を作り出してきた。それだけでなく、さらに新しい性質のガラスを作り出すために、原料の組み合わせや製法を工夫してきた。私たちの生活とガラスとの結びつきは、これからも一層深まっていくであろう。

(光村図書 〈国語 四上〉による)

二、新出単語

- | | | |
|--------------|--------|--------|
| 1. 暮らし (くらし) | 〔名〕 | 生活, 生计 |
| 2. 気づく (きづく) | 〔自五〕 | 察觉, 发现 |
| 3. 最初 (さいしょ) | 〔名〕 | 最初, 首先 |
| 4. 人工 (じんこう) | 〔名〕 | 人造, 人工 |
| 5. 主 (おも) | 〔形動〕 | 主要, 重要 |
| 6. 溶ける (とける) | 〔自下一〕 | 溶化, 融解 |
| 7. 加工 (かこう) | 〔名・他サ〕 | 加工 |

8. 透明 (とうめい)	〔名・形动〕	透明
9. 生かす (いかす)	〔他五〕	有效利用, 使…… 活
10. 瓶 (びん)	〔名〕	瓶
11. 蛍光灯 (けいこうとう)	〔名〕	荧光灯
12. 管 (かん)	〔名〕	管
ブラウン管	〔名〕	显像管
13. レンズ	〔名〕	透镜, 镜头
14. 組み合わせる (くみあわせる)		
	〔他下一〕	配, 组合, 装配
15. 薬品 (やくひん)	〔名〕	药品
16. 表面 (ひょうめん)	〔名〕	表面
17. 硬い (かたい)	〔形〕	硬, 生硬
18. にくい	〔后缀〕	难, 难以
19. けれども	〔接〕	但是, 然而
20. もろい	〔形〕	脆, 易碎
21. 割れる (われる)	〔自下一〕	破裂, 破
22. とがる	〔自五〕	尖; 紧张
23. 補う (おぎなう)	〔他五〕	补充, 补偿
24. 強化 (きょうか)	〔名・他サ〕	强化
25. 熱する (ねっする)	〔他サ〕	加热
26. 急 (きゅう)	〔名・形动〕	突然, 急
27. 内側 (うちがわ)	〔名〕	里面, 内侧
28. 膨らむ (ふくらむ)	〔自五〕	膨胀, 鼓起
29. 冷える (ひえる)	〔自下一〕	变冷, 变凉
30. 縮む (ちぢむ)	〔自五〕	缩, 缩小
31. 外側 (そとがわ)	〔名〕	外面, 外侧
32. 釣り合う (つりあう)	〔自五〕	平衡, 平均
33. 丈夫 (じょうぶ)	〔形动〕	结实, 健康